

目 次

(1) 事業報告 1

■「グローバル人材育成のあり方を考えるシンポジウム」を開催しました。

(2) 事業報告 2

■第2回コミュニティ通訳ボランティア研修を開催しました。

(3) 事業報告 3

■通訳・翻訳レベルチェックを開催しました。

(4) 事業報告 4

■安藤プログラムインタビュー2

(5) 事業報告 5

■ふれあい交流祭りが盛大に行われました！

(6) 事業報告 6

■地域交流会オリオン寮ウインターパーティー

(7) 事業報告 7

■外国人留学生向け就活セミナー&企業交流会

(8) JICA デスクからのご挨拶

(9) お知らせ

■国際協力ひろば「世界を見つめる映画祭」

■大阪府国際化戦略アクションプログラム事業業務委託の公募に関するお知らせ

(10) OFIX 国際交流員のレポート

■フィリピンのクリスマス(2)とお正月

(1) 事業報告 1

■「グローバル人材育成のあり方を考えるシンポジウム」を開催しました

大阪府国際交流財団と大阪府は、大阪の国際競争力を強化するため、「大阪府国際化戦略アクションプログラム」を策定し、「グローバル人材の育成」と「外国人の受入環境整備」に取り組んでいます。そのキックオフとして、「グローバル人材育成のあり方を考える」シンポジウムを12月3日に開催しました。



国際教養大学中嶋学長や、国際連合広報センター山下所長の講演のほか、米国留学説明、米国大学卒業生の体験談も実施し、海外留学などを目標

とする学生や保護者、教育関係者などが熱心に耳を傾けていました。

当日の様子は YouTube で配信しています。

<http://www.youtube.com/osakaglobal>

国際交流・観光課

大阪府国際化戦略実行委員会

http://www.pref.osaka.jp/kanko/kokusaika_action/

大阪府国際交流財団

<http://www.ofix.or.jp>

(2) 事業報告 2

■第2回コミュニティ通訳ボランティア研修を開催しました。

コミュニティ通訳とは教育、行政や福祉などの場面において、外国籍住民の方がスムーズにコミュニケーションできるお手伝いをするものです。コミュニティ通訳ボランティアとして活動のきっかけを作るとともに、外国人にかかわる諸制度を

理解し、さらにコミュニティ通訳者としてのマナー、倫理、通訳スキルなどを習得するために、今年度2回目の研修を11月21日、22日、25日に開催しました。英語、中国語、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語計6言語、33名(うち外国籍の方21名)が参加されました。



今回の研修では外国人の生活と密接な在留資格、

教育、母子保健、労働をテーマに、各専門家に講義して頂きました。参加者は熱心に講義に聞き入り、各自の経験に基づく質疑を活発に行いました。また今回言語面のトレーニングとして、ロールプレイ以外に通訳の基礎トレーニングを行い、シャドーイング、リプロダクション、クイックリスポンスなどの練習をしました。

「希少言語なので、同じ言語の通訳者と知り合えて、よかった」、「言語が違うけど、経験豊富なボランティアからたくさんの活動を聞いて、参考になった」との声が寄せられました。アンケートから「各専門家の講義を聞いてよかった」、「プロの通訳者から通訳の勉強法を学べて、いい刺激になった」など充実した研修と評価して頂いたことは主催側として何より嬉しいことです。

第1回目の研修に参加したボランティアには「外国人のための一日インフォメーション」、府下の子ども支

援センターなど様々な場で活動して頂いています。今回の修了者の方々にも、今後大いに活躍して頂きた

いと切に願っています。

(3) 事業報告3

■通訳・翻訳レベルチェックを行いました。

去る12月1日に、語学ボランティアの方々が活動をする際の一つの目安としていただくために、通訳・翻訳レベルチェックを開催しました。参加ボランティアは通訳・翻訳のチェックと、これまでの活動歴や今後の活動のご希望に関する面談を受けていただきました。これまで、なかなかボランティアのおひとりおひとりとお話

をする機会を設ける事が出来ていませんでしたので、私達にとってもよい機会となりました。

今後も語学ボランティアの方々が、よりそれぞれの希望する分野でご活躍いただけるために、レベルチェックを含めて、環境整備に努めたいと思います。

(4) 事業報告4

■安藤プログラムインタビュー2

第40号でインタビューをご紹介した安藤基金・大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業の研修生の4名に引き続きまして、今回は、大和ハウス工業㈱で研修を受けた、ユスファン・アデピュテラ・ユスラン(インドネシア)、ガドカリ・マユラ・ムクンダ(インド)と(株)竹中工務店で研修を受けたオリザ・アンガ・イラワン(インドネシア)、カンチャナ・ニヤイチャイ(ネパール)の残り4名の研修生のインタビューをご紹介します。

1. 大阪は初めてですか。印象はどうですか。
— 初めてです。日本人は親切で、街がきれいです。日本の技術は自分が思っていた以上に凄く、驚きました。(オリザ)
2. 日本と自国の違いは何ですか。
— インドネシアでは人々はよく仕事に遅れてきますが、日本人は時間に正確で、規律正しく、勤勉な所が違います。また日本は交通機関が発達していて、色々な場所へ移動しやすい点も違います。(ユスファン)
3. 休日はどのように過ごしましたか。
— 大阪市内や安藤氏建築の茨木市にある春日丘教会も訪れました。また堺の「だんじり祭り」にとってもわくわくし、ホームステイも素晴らしい経験となりました。(マユラ)
4. 安藤忠雄氏の建築について印象について。
— 安藤氏建築の建物の中に入ると、それが創りあげている空間、デザイン性やその建築過程を感じ取ることができます。また日本の事を考え、国や人々を助けているという点で彼は偉大な建築家であると感じます。(オリザ)
5. 建築に興味を持ち始めたきっかけは何ですか。
— 私は高校生になるまで建築に興味がありませんでしたが、ネパールの故郷で芸術建築の歴史的、文化的な環境の影響を受け、それに精通した事で、建築家を目指すようになりました。(カンチャナ)



6. 受入先企業の研修はどうでしたか。
— 竹中工務店での企業研修を通して日本人のマネージメントシステム(例えば、期日を厳守すること、設計を開始するにあたりやるべき事など)について学ぶことが出来ました。また建築現場への視察や日本企業特有の社風を知りました。(オリザ)



- とても素晴らしかったです。社員の方達は親切でよく面倒を見て下さり、とても親しい関係を築くことができました。大和ハウス工業で学んだ防災技術は私にとって役立つものなので、そのノウハウを今後実行していきたいです。大和ハウス工業は自分にとって第二の故郷のようで、わが家のように思っています。(マユラ)
7. 受入企業研修に参加して学んだ事は何ですか。
— 竹中工務店での研修は、ほとんどが建築の現場視察でした。防災技術やまた他部署がどのように連携を図りながら仕事を進めているかを学ぶことができ、労働形態、打合せを重ねることや経過報告を頻繁にしていることが興味深かったです。(カンチャナ)
8. 研修を通して学んだ事を自国でどのように生かしたいですか。
— 竹中工務店の企業研修で業務を円滑に行う方法を学んだので、今後はスケジュール管理をしっかりしていきたいと思います。(オリザ)
— インドネシアに戻ったら、大和ハウス工業で学んだ技術(防災技術、建築材料の利用方法、障害者や高齢者に配慮した建築設計など)を自国で生かしていきたいと思います。(ユスファン)
9. 最も印象に残っている事を教えてください。
— 一番は、安藤忠雄氏とお会いできた事です。また神戸～大阪まで新幹線に乗ることができた事、そしてホームステイを通して日本の文化や伝統的な生き方を知れたことです。(マユラ)

(5) 事業報告5

■ふれあい交流祭りが盛大に行われました！

今日は11月24日、泉南地域(泉州南のことで、岸和田市以南)でも日に日に寒さを感じるようになりました。その最中、23日(祝)に第15回ふれあい交流祭りが関西国際センター(関西空港近く)で行われました。主催は関西国際センター研修生交流支援協議会(略称;支援協)、岸和田市以南の10国際交流団体に加えて大阪府国際交流財団や当該センターなどが取り組みました。

回数を重ねるとどうしても同じような出し物の繰り返しになりがちですが、支援協は海外からの多くの研修生との触れ合いを大切にしながら取り組んでおり、もちろん研修生にとって全く初めての経験をしてもらうことになるのでいつも新鮮な気持ちが保たれています。研修生は多くの日本人に親近感を持って、いろいろな体験と交流をしてくれます。日本古来の居合道や書道、絵手紙、昔の玩具作り、その他多くの出展や出品がありました。研修生は自国の紹介に展示や民芸品で、積



極的にアピールしていました。

例年、大きな人だかりができるのは、研修生約30人が民族衣装を着てのファッションショーです。研修生に民族の誇りを思

いながら、出演しています。日本に居ながらにして、とても多くの民族と触れ合い、煌びやかな衣装を目の前に見ることが出来るのは、つかの間と言えども大きな幸せを感じる感動的な時間でした。

午後1時から始まったふれあい交流祭りは、約500名近くの入場者で賑わったままで無事終了することができました。私たちは早々に思い出話を交えながら、次回に向けて意欲満々の反省会を開いて、めでたく年末を迎えられることでしょう。

(6) 事業報告6

■地域交流会オリオン寮ウインターパーティー

12月10日大阪府堺留学生会館オリオン寮にて「地域交流会オリオン寮ウインターパーティー」が開催されました。大阪府北堺警察署の方から防犯指導を受け、寮生と日頃からお世話になっている地域の方々や日本人学生達が歌や書道、ゲーム等を楽しみながら交流を深めました。今回は、寮生が所属する PowerArts の子どもたちが

元気いっぱいのアクロバットショーを披露してくれました。子どもたちの元気な笑顔に癒されたとても楽しいパーティーとなりました。



(7) 事業報告7

■外国人留学生向け就活セミナー&企業交流会



開催しました。日本で就職を考える外国人留学生 22名

12月10日、主催堺市、財団法人大阪府国際交流財団、企画運営財団法人大阪労働協会による「外国人留学生向け就活セミナー&企業交流会」を堺市立国際交流プラザで

が、エントリーシートの書き方、自己分析について、企業の情報収集・研究、面接での心構え等就職活動の仕方やスケジュールについて、就職する為に必要な資格や試験、採用側が留学生に求めるものや考え方等の講義を受けた後は、企業採用担当者の生の声を聞き、自己PR、質疑応答ができる交流会に参加しました。参加した留学生からは「就職活動の仕方が分かり、とても参考になった。」「またこのようなセミナーをして欲しい。」との声を聞きました。

(8) JICA デスクからのご挨拶

みなさま、こんにちは。2010年5月よりOFIX内のJICAデスクを務めて参りました国際協力推進員の中川知子です。着任から1年7ヶ月余り、今月末にて離任致します。この期間、大阪府内の自治体や教育関係など様々な分野の方々にお会いし、お仕事させていただきました。その中で国際協力やボランティアについてだけでなく、教育や日本で生活す

る外国の方々の暮らしなど、今まで関わったことのない分野についても色々と学ぶ機会を得ました。本当にたくさんの方々にお世話になり、ご一緒させていただいたみなさまとの「縁」に深く感謝しております。次号では、後任からご挨拶させていただきますので、引き続き JICA デスクをよろしく願い申し上げます！

(9) お知らせ

■国際協力ひろば「世界を見つめる映画祭」

JICA 大阪と(財)大阪国際交流センター共催で国際協力ひろば「世界を見つめる映画祭」を開催し、国際協力・

経済・環境の3つの分野から抜粋したドキュメンタリー映画をお届けします。

【第1回】国際協力-ミレニアム開発目標

2012年1月22日(日)13:30-16:00

『8-Eight-』(100分)上映+オックスファム&JICA 大阪所
長トーク

【第2回】経済-「豊かさ」とは?

2012年2月26日(日)13:30-15:30

『幸せの経済学』(68分)上映+JICA ボランティアトーク

【第3回】環境-気候変動に揺れる島

2012年3月18日(日)13:30-16:30

『Beautiful Islands』(106分)上映+海南監督スペシャル
トーク

<会場>大阪国際交流センター 小ホール <参加費>
無料 <定員>200名(各回)

<お申込み方法>各回1ヶ月前からお申込みを受け付け
ます。お電話にて、お名前・連絡先・参加人数をお伝えく
ださい。

お申込み・お問合せ (財)大阪国際交流センター 情報
企画部 Tel 06-6773-8989

■大阪府国際化戦略アクションプログラム事業業務委託の公募に関するお知らせ

OFIXと大阪府は「大阪府国際化戦略アクションプログラ
ム」を策定し、大阪府国際化戦略実行委員会を設立いたし
ました。「グローバル人材の育成」と「外国人の受入環境整
備」に係る事業について、民間事業者等の知識やノウハウ
等を活用し、より効果的・効率的に実施するため、企画提案

公募により受託事業者を募集いたします。

詳細は下記URLよりご確認ください。
http://www.ofix.or.jp/ap_koubo.html

(10) OFIX 国際交流員のレポート

■フィリピンのクリスマス2とお正月

皆さん、こんにちは。皆さんのクリスマスはどうでしたか。こ
れを読むところはもうお正月の準備をしているのでしょうか。前
回はちょっとフィリピンのクリスマスについてお話ししましたが、
具体的に何をやっているのかまだ話していませんね。今回は
そのこととフィリピンのお正月について話します。

前回に言いましたが、フィリピンではもう9月からクリスマス
の準備をしています。しかし、本当のクリスマスのお祝いは
12月15日から始まります。この日から「シンバン・ガビ」、日
本語で言うと「夜のミサ」が始まります。15日から9日間で毎
日朝早く教会でミサを行います。なので、朝の3時か3時半
ごろに教会の鐘が聞こえます。ミサが終わったら帰りに「プト
ブンブン」というお菓子とホットケーキのような「ビビンカ」を買
って帰ります。

12月24日は家族の為の日で、この日を家族と一緒に過
ごします。フィリピンでは24日を「ノチェブエナ」と呼びます。
この日に食べ物を多く用意して、家を訪れるお客さん、すな
わち、親戚、友人、隣の人などを歓迎します。25日になつた
ら、日本のお正月のように家族一緒に食事をします。

クリスマスに一般的に食べるものはパンシット(焼きビーフ
ン)、スパゲティー、プト(蒸しパン)、バーベキューなどがあり
ます。クリスマスに限って、「ケソ・デ・ボラ」という丸いチ
ーズとハムを食べます。クリスマスは終わりますが、お祝いは
まだ終わりません。次はお正月があるからです。

フィリピンのお正月は「うるさい」という評判があります。他の

国と同様フィリピンも大きい音で新年を迎えます。それも爆
竹を使って大きい音を作ります。中国から受け継いだ伝統で
しょう。しかし、新年の日だけならいいのですが、2週間前
からはもう爆竹の音が聞こえます。そして、爆竹と言っても爆弾と
同じぐらいの破壊力があります。強い爆竹が電柱の近くで爆
発したのを見たことがあって、その電柱の電球が爆発の後で



消えかけていました。
こんなに威力のある
爆竹があるので、爆
発で怪我をする人
は毎年たくさんいま
す。最近、フィリピン
人の意識が変わっ
て来て、爆竹の代
わりに玩具のラッパ
やなべの底を叩くなどをしてで大きい音を出します。他にラ
ジオの音を最大限にしたり、車に乗っている人は車のクラク
ションを鳴らしたりします。騒ぎは30分ぐらい続いて、その後、
食事をして寝ます。朝起きると鼻の中は爆竹のススで黒くな
っています。(これを避けるために綿を鼻に詰めます。)

フィリピンのクリスマスとお正月はフィリピンが一番にぎやか
な時期です。みなさんはぜひ一度自分の目で確かめてみま
せんか。

◎ OFIX ニュースについてのご意見、ご感想はこちら info@ofix.or.jp

◎ 大阪国際クラブの会員の皆様からの海外レポートはこちら clubnews@ofix.or.jp

◎ バックナンバーはこちら <http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber.html#japanese>

☆☆

発行:(財)大阪府国際交流財団(OFIX)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか5階

TEL 06(6966)2400 FAX 06(6966)2401 ホームページ:<http://www.ofix.or.jp>

☆☆

